

第168回幹事会議事要旨

日 時 平成25年1月25日（金）13：30～17：00

場 所 日本学術会議6-A（1）（2）会議室

出席者 （会長） 大西 隆

（副会長） 武市 正人、小林 良彰、春日 文子

（第一部） 佐藤 学、大沢 真理、後藤 弘子、丸井 浩

（第二部） 山本 正幸、生源寺 眞一、須田 年生、長野 哲雄

（第三部） 家 泰弘、荒川 泰彦、巽 和行、土井 美和子

（事務局長） 齋藤 敦

（事務局次長） 飯島 信也

（課長等） 渡邊 清、上平 春樹、中澤 貴生、石原 祐志、佐藤 正一

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 前回の幹事会以降の諸報告事項について確認が行われた。
- 3 以下の公開審議が行われた。
 - (1) 原子力利用の将来像についての検討委員会における分科会委員（原子力発電の将来検討分科会、原子力学の将来検討分科会）を決定した。
 - (2) 国際委員会における小分科会委員（Gサイエンス及びICUS等分科会Gサイエンス2013小分科会）を決定した。
 - (3) 分野別委員会運営要綱の一部改正（新規設置1分科会、設置期間の延長1分科会）及び委員会等委員を決定した（1委員会、3分科会）。
 - 新規設置
 - ・史学委員会史学分野の参照基準検討分科会
 - 設置期間の延長
 - ・社会学委員会・法学委員会・政治学委員会・経済学委員会・経営学委員会合同国民目線による統計調査・意識調査の方向性の検討分科会
 - (4) 第二部ゲノムコホート研究体制検討分科会小委員会の委員構成の変更を決定した。
 - (5) 提言「地質地盤情報の共有化に向けて-安全・安心な社会構築のための地質地盤情報に関する法整備-」について地球惑星科学委員会の佃栄吉委員より説明があり、審議の結果、所要の修文について第三部が責任を持つことを条件に承認された。
 - (6) 声明「科学者の行動規範-改訂版-」について日本学術会議改革検証委員会学術と社会及び政府との関係改革検証分科会の小林良彰委員長より説明があり、所要の修文を条件に承認された。
 - (7) 産学官連携功労者表彰要領（平成22年5月27日日本学術会議第96回幹事会決定）の一部改正を決定した。

- (8) Gサイエンス学術会議出席のために会員等を派遣することを決定した。
 - (9) アジア学術会議第 13 回会合及び第 14 回会合に係る打合せのために会員を派遣することを決定した。
 - (10) 日本学術会議とブルガリア・アカデミーとの二国間会議「持続可能性に向けた日本とブルガリアとの共同研究」（仮題）を開催することを決定した。
 - (11) 9 件のシンポジウムの開催、また 4 件の国内会議の後援を承認した。
- 4 その他事項として、第 164 回総会中の日程が確認された。今後の幹事会開催日程について、一部変更が確認された。
- 5 以下の非公開審議が行われた。
- (1) 分野別委員会における分科会委員（特任連携会員）及び小委員会委員を決定した。
- 6 非公開のその他事項として、小林良彰副会長から第 22 期外部評価委員の構成について報告があり了承された。